討魔部隊
六花の戦闘記録
猛毒ノ蠍 3
～集団凌辱と魔物出産～
本編64P

これから繁殖の準備をするわよ

あなたにはたくさん役に立ってもらうわ

ミッ

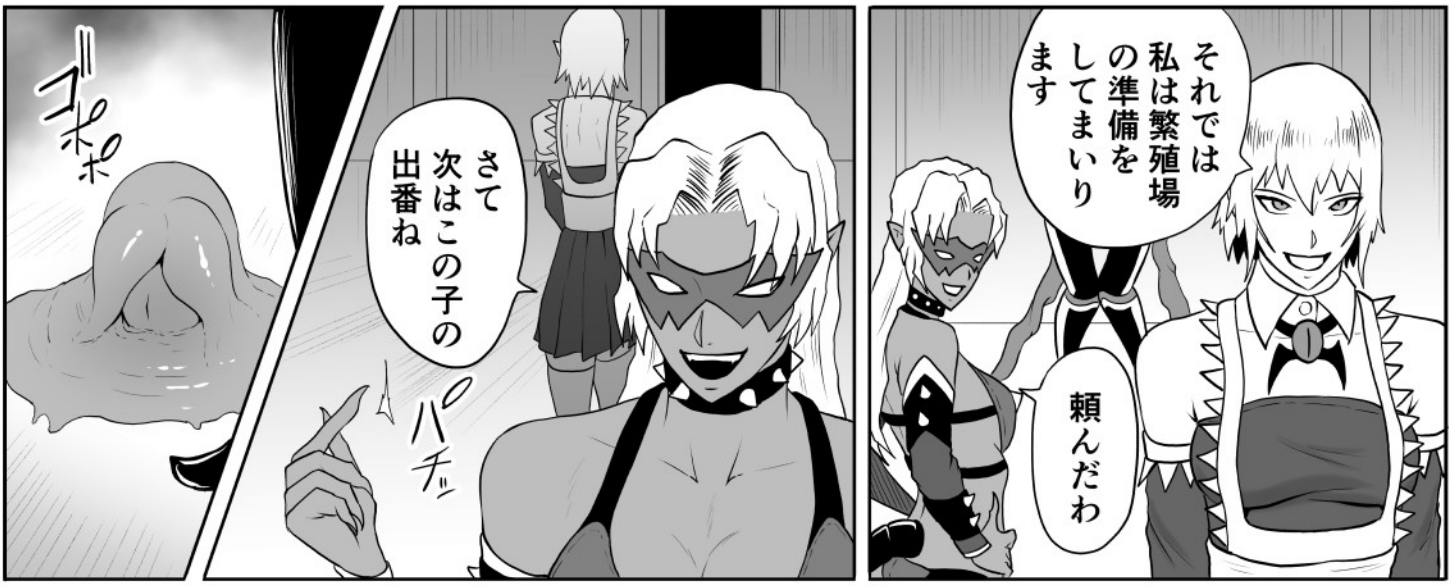
ギチ…

私のかわいい六花ちゃん♥

ギチ…

誰が…魔物の繁殖なんか手伝うかッ

あなたにそれを決める権利はないわ


それでは私は繁殖場の準備をしてまいります
頼んだわ


さて次はこの子の出番ね
パチン
ゴポポ

!?
ゴポ
ゴポ
なんだ…そいつッ？

その子はスライムよ
ムッ
メル
メル
ガシッ
安心して女の扱いには慣れてるわ
繁殖の前に体をきれいにしてくれるわ
クニ
クニ
ジュルルルー
体の内側からねッ
おぉぉぉぉぉぉ

おおおッ
おおッ
奥まで入ってくるッ
ニュル
ニュル
たくさん犯されたぶんしっかり洗わないとね
黙れッ
元はといえばお前たちが汚したんだろッ

お前たちは許さなッ

ムチュ

ふぅ!?

ズルル

おぉぉぉぉぉッ

上の方からも綺麗にしてあげないとね

グッグッグ

グッグ

おぉ…

おぉ…

く…苦しいッ

これでしっかり洗浄ができるわね

ズルゥ

ビクッ

カッ…ッ

ギリッ…ッ

体の中で動いてるッ

グニュ

ビクッ

グニュ

素敵よ今のあなた

フフフ

ミスティナァ…ッお前は僕が必ず倒してやるッ

口だけは立派ね

ボコッ

ボコッ

おおおおおおおおっ!!

やめろぉ

お腹が裂けるぅッ

グリュ

グリュ

ただ体内を洗ってるだけよ

別に騒ぐことじゃないわ

あら
終わったのね

あぁ

じゃあさっさと
出しておしまいに
しましょう

ブチュ

ズリュリュリュ

ぉぉぉぉぉぉ!!

これで綺麗に
なったわね

ゴポ

ゴポ

ドサッ

あらあら…
体の中弄られた
くらいで大げさね

ビク

ビク

ビク

ビク

本番はこれからだ
っていうのね…

ガッ

動けないなら運んであげるわ
さあ繁殖場へ向かうわよ
は…離せぇッ

お疲れ様です
ミスティナ様
ドサッ
ガラ
ガラ

この子が
新入りですか？
思ってたより
ずいぶん
小さいですね

油断は
ダメよ
サーミア
見た目以上に
強いんだから

だから強い
魔物を産んで
くれるはずよ
グイッ
ドッ

さあ六花ちゃん
ここが魔物の
繁殖場…
あなたの
新しい
居場所よ

そんな…

こんなことって…

こんなの…

酷すぎる…

パチィ
許さない…
相変わらず元気な子ねッ
ドカッ
ダッ
絶対に許さないぞっミスティナァ！
ドスッ
ぎゃぁぁぁ!!

あッ
グイイィ
それだけ怒るのも当然よね
あなたは人々を守るために生まれてきた…
ガッ!
ドクッ
ドクッ
ドクッ
ドクッ
それなのに目の前の人たちを助けられない
自分の力不足で私たちに勝つことができないから
悔しいわよね
ブラブラッ

さて…
ドサッ
私たちはお暇させてもらうわ
ビクッ
カキッ
ビクッ
見ての通りタフだから多少乱暴でも問題ないわ
後は頼んだわ
お任せください
ミスティナ様に立てつくなんていい度胸じゃない
ギリ
ギリ
さてと…
ヒュルルッ

気に入ったわ
あなた
これからたっぷり
交尾してもらうわよ
ハッ
ハッ
クチュ
クチュ
ほら
あんたたちの
好きにして
いいわよ
ゲヘヘ
ッ!?
オオオォ
トサッ

活きのいい女が入ってきたぜぇッ
やめろッ
近づくなッ
弱ぇ女ばかりで飽きてたんだッ
おまけに気も強ぇときたッ
ガバッ

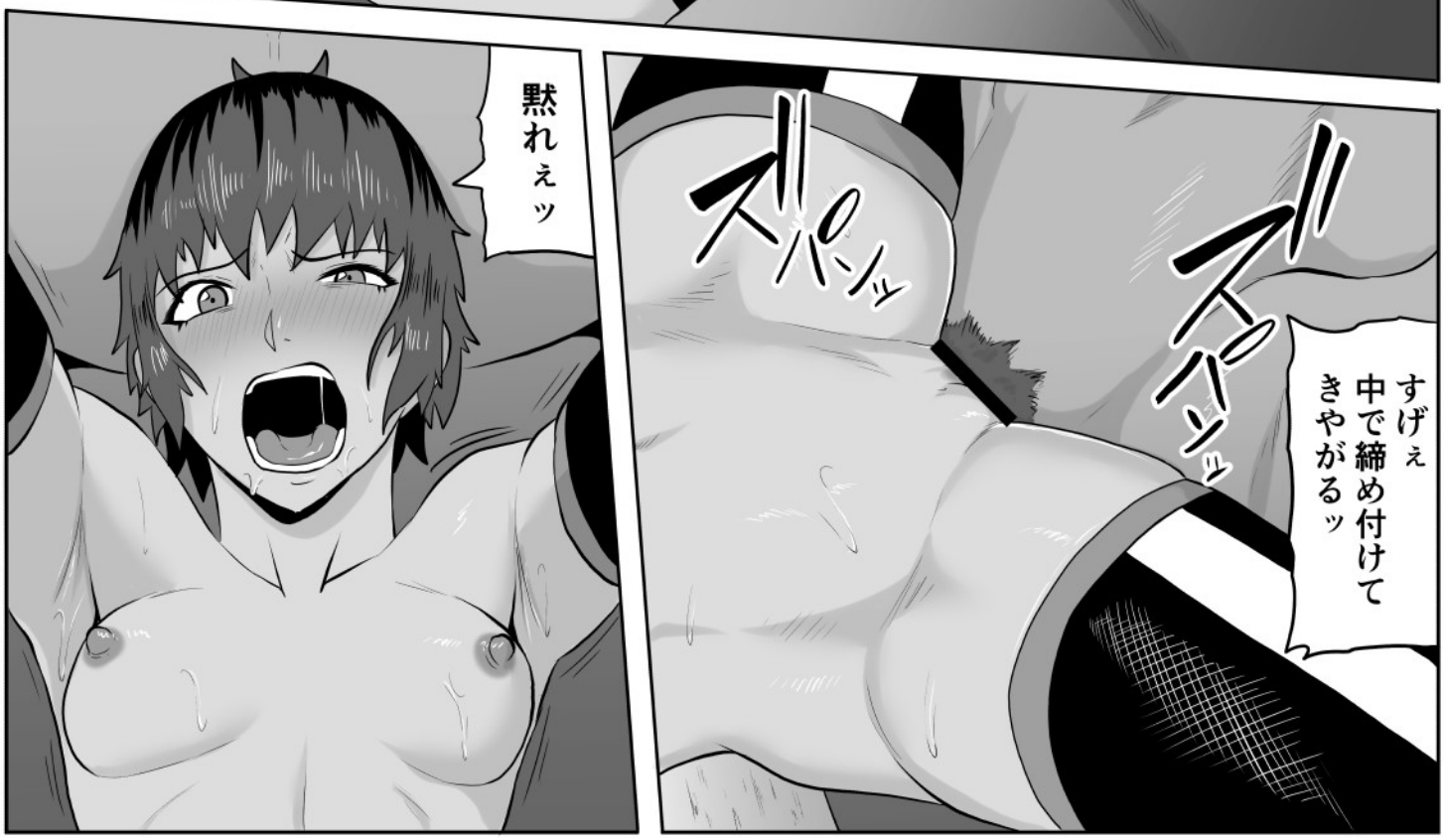
おらいくぞぉッ

ハヤギリ!!

ズポッ

ビクッ

ビクッ



俺も我慢できねぇ
こっちの穴使わせてもらうぜぇッ
グポォッ
おッおッおッおッ!!
ビクッ
ビクッ
どうして…お尻もマンコも熱くなって…
ズポッ
ズポッ
どうだ気持ちいいだろぉ
ヒェッ
俺たちの体液には媚薬効果があるんだぜぇッ

おらっ
よく見ろぉッ
いやッ
離せぇッ
認めないッ
気持ちいいなんて
認めないッ
いい声で
鳴くじゃねぇか
俺たちのチンポが
病みつきになっち
まったかァ？
黙れぇッ

そろそろ出すぜぇ

全部受け止めろよぉッ

やめろッ 中に出したらただじゃおかなッ

ビクッ

ビクッ

ガギギギギッ

ドクッ

ドクッ

ビュルル

ビュルル

こいつらの精子焼けるように熱い…ッ

まだまだ終われねぇぜッ
ズボッ
ズボッ
突いたぁッ
ガッ
次は俺の番だぁッ
どうした？気持ちよくてよがってんのかぁ？
黙れぇッ
よく言うぜこんなにマンコヒクつかせてよぉ
ヒクヒク
チュポッ
チュポッ

お前らのなんかで感じるか
うるせぇ口だなこれでも咥えてろ
うめぇだろ俺のチンポッ
たっぷり味わいなぁ
やっと静かになりやがったぜ

普通ならイキまくってるハズなのによく耐えるわね
イクぞぉッ
ドッ
ドッ
ドボッ
ドボッ
たっぷり飲みなぁッ

どんな子が生まれるか楽しみね

ドピュッ
ドピュッ
ドピュッ
ドピュッ
ドピュッ
なんだぁ？
その反抗的な目は
ハァ
ハァ
まだまだ犯され
足りねぇみたいだな
まだそんな生意気な
態度取れんのか
バチッ
く…ッ
ナメるなぁ

あらまだ反撃できるのね
ドサッ
ドサッ
ドカッ
お前ら全員…僕一人でも倒してやるッ
バチッ
バチッ
無駄よ
ギュル
ギュル
いくら強くても多勢に無勢
私たちには敵わないわ
すこしおいたが過ぎたわね

今度は抵抗できないように入念に責めてあげなさい

了解で～す♥

任せてください♥

まずは優しく…

可愛い反応するねお姉ちゃん

ん…♥

ス…♥

レロ

レロ

スル

スリ

ガッ

クリュ♥

クリュ♥

ガッ♥

おマンコはもっと敏感だよ

ガッ

ガッ

キュル

キュル

レロ

レロ

乳首敏感なんだね

前戯はここまでよ
今度は私たちがじっくり責めてあげる
いや…やめろ…ッ
敏感な場所はどこかしら？
掻きまわすなぁッ
心配しないですぐ見つけてあげるわ

見つけたわ
ここでしょッ
ゴチュ
ゴチュ
お姉ちゃん
かわいい
レクッ
レクッ
もうイッたわ
この子
いやらしい
子ねぇ
こんなんじゃ
先が思い
やられるわね
チュポッ
チュポッ
やめろぉ
もう
動かすなぁ
チュポッ
チュポッ

お尻ダメェ
ほ～ら アナルも 責めるわよ
ズボッ
ズボッ
おマンコだけじゃ つまらないわよねッ
いや… またイか されるッ
またイッたわ
この責め方が 好きなのかしら

私たちもイクわ
たくさん熱いの出してあげる
中出しでもイッてるわ
本当にいやらしい子ね

さっき見てたけど
この子アナル
弱そうよ

え～
ホントに～

おおおおッ

まあ
見てなさいッ

いやッ
そんな激しくッ

ズポッ

ズポッ

ほ～ら
限界でしょ

違うッ
僕は
イかないぞッ

絶対にイかッ

おおおおッ

ほら
イッたわ

ビクッ

ビクッ

うわ～
やらし～

ふざけるなッ
僕はオモチャじゃないッ

何言ってるの？
あなたなんて
オモチャ同然よ

すでに私たちの
孕み袋じゃない

思い上がりも
いいとこだわ

私たちには
逆らえないよ

黙れぇッ

ねぇ
どんな
気持ち？

そんな口聞いちゃダメだよお姉ちゃん

チュポッ

逆らったらダメなんだから

ニュル

どう私の責めは？

私の尻尾おチンポ美味しい？

おっ

そんな…またイきそうなのにこんな追い打ちを…ッ

ジュポ

ニュル

ビクッ

おほぉぉぉぉぉぉ

アハハッまたイった

あらあら楽しそうじゃない
私たちも混ぜてよ
見てアクメが止まらなくなってるわよこの子
ニョロ
ニョロ
こんなんじゃプライドなんて保てないわね
イキまくってるお姉ちゃんも可愛いよ
認めない…
こんなの認めないッ

さあ私たちも出すわよッ

ビクッ

ビクッ

ドプッ

ドプッ

ドプ

あらこの子に目をつけられたみたいね
お気の毒ね
なにこいつ…他の奴らとは全然違う…ッ
ッ!?
この子の責めに耐えられるかしら
どうなるか見ものだわぁ

こいつ
チンポと尻尾で
犯してくる…ッ
でもさっきのと
比べたらこの程度…
その子は特殊
な個体でね
口にも生殖器が
ついてるのよ
ッ!?

奥まで入ってくるッ
どう？胃にまで届くイラマチオは
やだッ私たちが注いだ精子吐いてるわ
いやッ苦しいッ
もったいな～い

見なさいよ
吐くほど
苦しがってるのに
よがってるわ
ホントだ～
いやだッ
イく…
イくッ
ほら
イッったわ
ホントに
イッた～
ドM
じゃ～ん

そろそろこの子も出しそうよ

んぉぉぉ

んほぉぉぉ

ゴキュゴキュ

ドクドクッ

ハァ

ハァ

ドサッ

フフフ お疲れ様

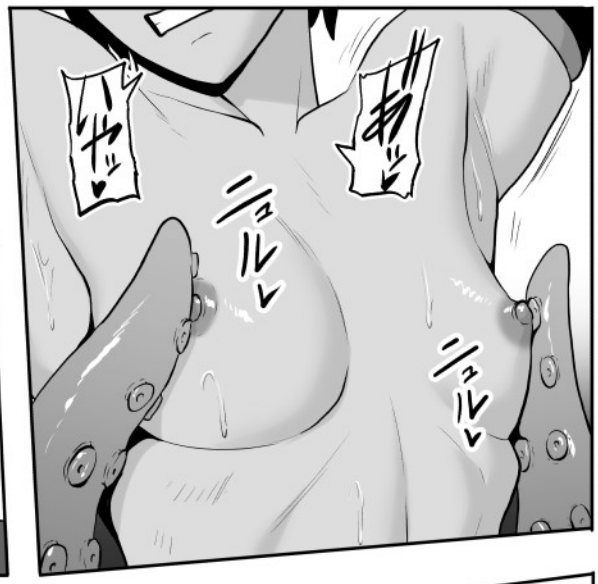
頑張ったね お姉ちゃん

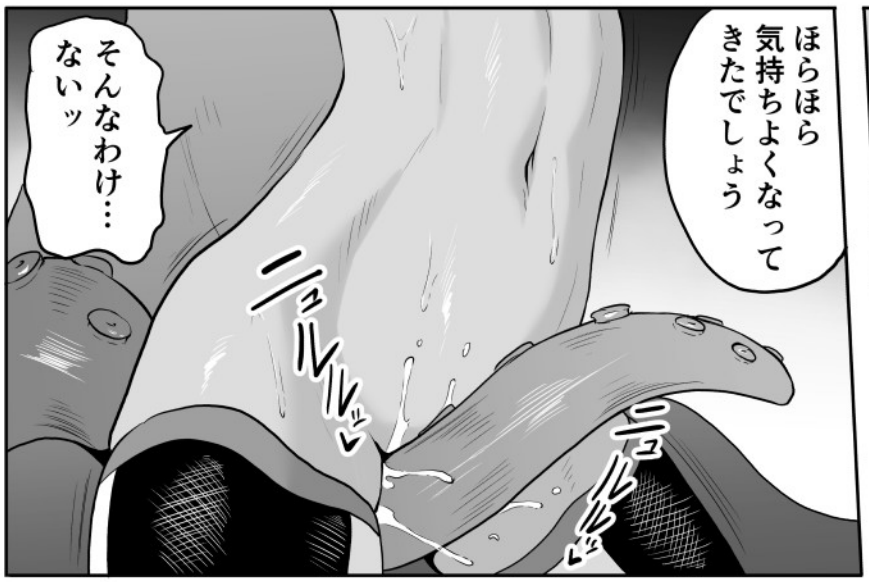
んぉぉぉ

ズルル

お腹の中で何か動いて…ッ
何か出てくるッ
なんだ…これは…？
それは魔物の幼体よ
この子たちの精子とあなたのエナジーが融合して生まれるのよ
このペースならたくさん産んでくれそうね

ふざけるなッ
ギュルルッ
くぅ…
離せぇッ
コラ
暴れないの
ショロ
ショロ
たくさん産んだ
ご褒美をして
あげるわ
くぅぅ…
気持ち悪い
触手なんかで
触るなぁ…ッ
フフフ
そんな触手でも
気持ちよく
なってるじゃない
ヌリュ
ヌリュ
ヌル
ヌル
スリ
スリ
スリ
スリ


ハッ
ハヤッ
ニュル
ニュル


ほらほら
気持ちよくなって
きたでしょう
そんなわけ…
ないッ
ニュルル
ニュルル

正直じゃないわね
反応を見れば
バレバレよ
ッ
ニュル
ニュル
ニュル
ニュル

ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
アハハッ
やっぱりイった

お姉ちゃん
イきそうに
なってる〜
産んだばかり
なのに元気だね
違うッ

ほ～ら
イきたての
マンコ見せて
あげるわ

やめろぉ
見るなぁッ

ヒクヒク

ヒクヒク
してる～

やらし～

マン汁で
トロトロ
じゃない

そんな声出していいの？大勢の前で犯されてるのに

ガルッ

ガッ

チュポ

ヤッ

チュポ

黙れぇぇッ

ぐちょぐちょに犯されてるわ

丸見えだよお姉ちゃん

まだまだ元気そうね

おおおおおおおっ

ヤッ

見るなァァッ

チュポ

チュポ

やだ〜
やっぱり変態なんだわ
よく言うわ見られて喜んでるんでしょ？
お前ら調子にッ
そんなに強がったって状況は変わらないわよ
あなたはただ犯されるだけ

だから可愛くよがってなさい
クニュ
クニュ
クリュ
んんッ
クリュ
んんんん

待ってこの子もしかして
ミャッ
やっぱり盛大に潮吹いたわッ
ミャアアアッ
うわッ汚〜い
反撃のつもり？

こっちも仕返しよッ
あらあらこんなにへこたれて
まだまだこれからだっていうのに

もう…
やめろ…ッ
ギュル
ギュル
休ませないよ
もっと産んでもらうんだから
ボッ
ボッ
ボッ

つれないな〜
もっとスキンシップして仲良くなろうよ
カサッ
クリュ
クリュ
クリュ
クリュ
そんなとこ触ったら…
ブルブルブル

もっと喜ばせてあげる
敏感な所責めるよ
そこなんとこ舐めるなァッ
アハハッもうイキまくってるッ
あれ～アクメ止まらなくなっちゃたみたい

お姉ちゃんの中ヒクヒクしてる
気持ちよくてもう出ちゃう
ズポッ
ズポッ
ああっ
出すなァ
ドッ
ドッ
ドッ
ドッ
気持ちよかったよお姉ちゃん♥

私も我慢できないわ
お尻いやぁぁぁぁ
ハハハッ自分でイくって言ったわよ
もうなりふり構ってられないのね

ちょっと独り占めはだめよ
私も混ぜなさいよ
本当にイきまくってるのね中が痙攣してるわ
こんなにアクメする子だったなんて…いやらしい子
ふざけるなぁッ
今すぐ抜けぇッ
今更気丈に振舞ったって威厳なんてないわよ
情けない声出してイキまくってるくせに…

こんなにイッて壊れないかしら？

ズチュ

ズチュ

あぁッ

大丈夫よこの子は強いから

ムチュ

んふぅッ

そうでしょ子猫ちゃん♥

ガッ

ジュル

ジュル

フフフッキスしながらイッてるわ

ガク

ガク

犯されてるのが分かってないのかしら？

ふはッ

犯されてるくせに美味しい汁垂れ流すじゃない

今度は私たちの汁をあげるわッ

ビクッ

ビクッ

出すなぁッ

たくさん出してあげるからねッ

ドッ
ドッ
ドッ

さぁて何本
入るかしらねぇ
こんなに
ミチミチに
咥えたわ
小さいのに
よく入る
じゃない
やだわ
これでもアクメ
するのね
いやぁッ
もうイき
たくないッ

出遅れたわ もう入るスキがないじゃな〜い
そんなことないよ
こっちの穴にはまだ誰も入れてないよ
ああ その手があったか
じゃあ遠慮なく使わせてもらうわ
美味しそうにしゃぶってるわ
喉マンコでも感じてるんじゃない？

無様ねぇ
上下の穴犯されて
イきまくってるわ

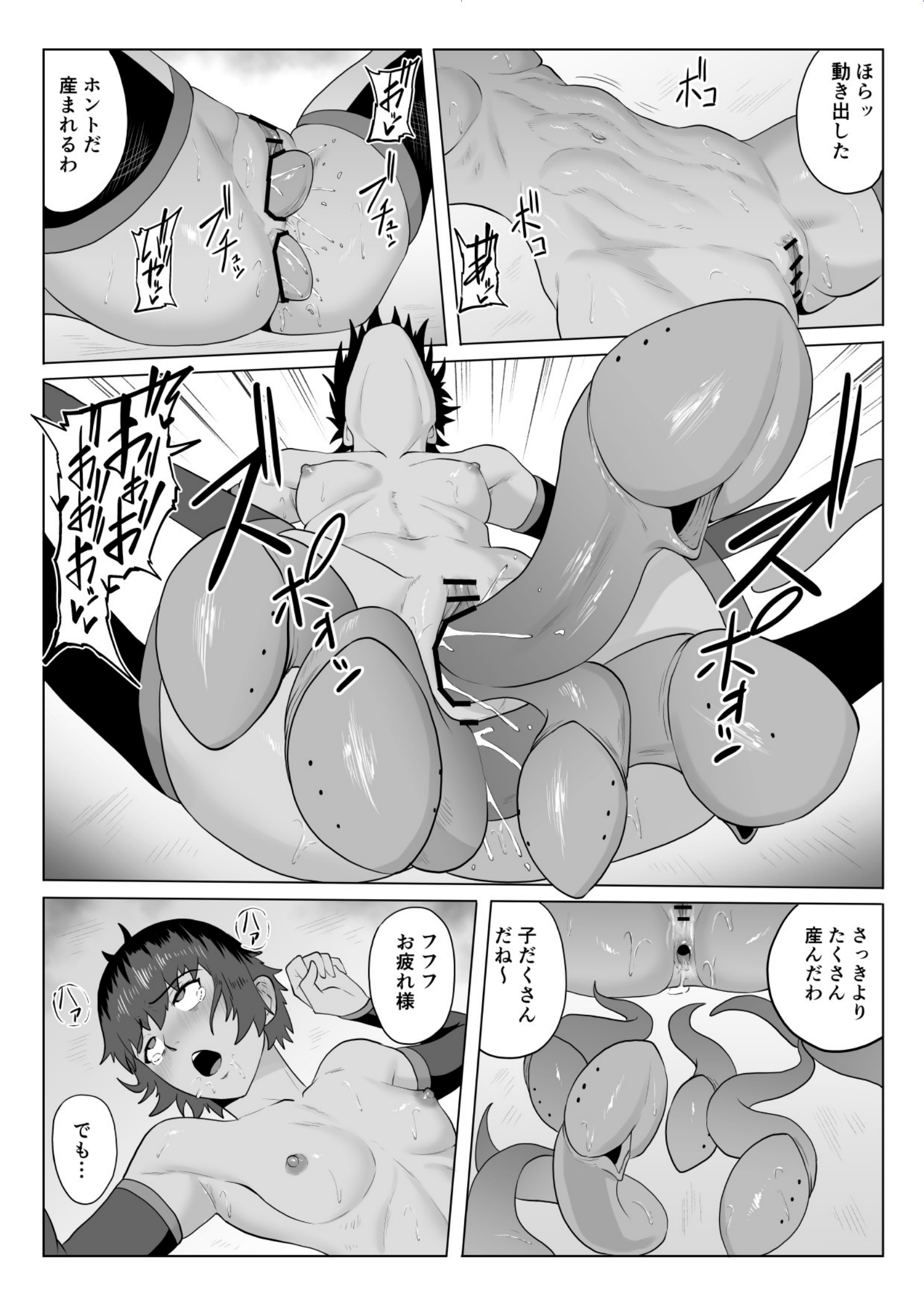
もう…
耐えら
れないッ

あぁ♥
私もイき
そうだわ

私もよ

皆でいっぱい
注いで
あげましょう

ふ～
楽しかったわ
そろそろ
アレ来るん
じゃない


ほらッ動き出した
ボコ
ボコ
ホントだ産まれるわ
ブチュッ
ブチュッ
ボォッ
ボォッ
おぉぉぉ

まだまだいけるわよね

頑張ってお姉ちゃん

本番はここからよ

ニョロ

いや…ッ

来るなッ

ニョロ

もうやめてェェェッ

キュル

キュル

ズブッ

ズブッ